

第 35 回全国インドアローイング長野大会 新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン

本ガイドラインは、現状を踏まえ関係諸機関のガイドライン等の情報を用いて作成しており、大会主催者として、最大限安全に配慮して運営を行いますが、大会に関わるすべての方の新型コロナウイルスへの感染に対して、いかなる場合においても責任を負いかねますので、予めご了承ください。

1 基本方針

- (1) 大会参加者（選手・監督）及び大会運営スタッフ並びに大会開催地の住民の生命、健康の安全を最優先とし、大会開催に係る感染リスクに対し必要な対策を講じるものとする。
- (2) 大会開催にあたっては、大会に関わる全ての者が本ガイドライン及び「新しい生活様式（厚生労働省）」に基づく感染症対策を実践する。

2 大会の新型コロナウイルス感染症に係る開催可否判断時期及び判断基準

大会開催は、以下の(1)～(4)の要件を総合的に評価し、11/30に開催可否の判断を行い、中止時には速やかに長野県ボート協会 HP にて公表するものとする。ただし開催決定後であっても、全国的な感染拡大が認められた場合には大会中止とする場合もある。

- (1) 全国的に緊急事態宣言が発出された状況にないこと。
- (2) 開催自治体（長野県下諏訪町）において、イベントの開催及び施設利用が認められていること。
- (3) その他、大会長が感染リスクが急速に増大している状況でないと認めるとき。

3 大会規模の変更について

主催者は感染症対策のため大会規模の縮小を行う場合がある。

4 大会参加者及び大会主催者（運営スタッフ）の遵守事項

大会関係者は以下を遵守すること。

- (1) 選手、役員ともに、当日を含め14日以内に以下に示す症状が一つでも該当する場合は、参加は認められない。該当者は会場入りせず、速やかにその旨を主催者に報告すること。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 平熱を超える発熱がある場合<input type="checkbox"/> 咳、のどの痛みなどの風邪症状がある場合<input type="checkbox"/> だるさ、息苦しさを感ずる場合<input type="checkbox"/> 味覚、嗅覚の異常を感ずる場合 |
|---|

□ 過去7日以内に、新型コロナウイルス感染症と診断された者との濃厚接触が
明らかな場合

- (2) 選手、役員ともに、団体ごとに「健康チェックシート」を記載し、大会会場入り競技本部へ提出すること。
- (3) レース以外では原則としてマスクを着用すること。
- (4) 大会期間中、こまめな手指消毒または手洗いを実施すること。消毒液、拭き取り用の布やペーパータオル、ゴミ袋は各自の責任で用意すること。
- (5) ソーシャルディスタンスの確保に努めること。
- (6) 選手に向けての大声での声援は行わない。
- (7) 大会関係者は、大会終了後14日以内に新型コロナウイルスに感染した場合、速やかに主催者にその旨を報告すること。
- (8) できる限り新型コロナウイルスワクチンを接種すること。摂取の有無にかかわらずPCR検査を推奨する。
- (9) 体調不良の場合は誹謗中傷を恐れずに医療機関に連絡をして受診をすること。
- (10) 当日の体温が平熱より1度高いまたは37.5度以上だった場合、その他新型コロナウイルス感染症が疑われる症状があった場合、参加は認められない。該当者及び濃厚接触者は会場入りせず、速やかに報告すること。

連絡先：下諏訪体育館（火曜日休館）：電話 0266-27-1455

5 本ガイドライン周知等

主催者は、本ガイドラインについて大会関係者に文書で通知するとともに、必要に応じ長野県ボート協会ホームページへの掲載、メール等により事前周知する。